

# PL-7920 シリーズ取扱説明書



## 警告 安全に関する使用上の注意

- ・電源ケーブルの取り付けは必ず電源が供給されていないことを確認して、取り付けてください。感電の恐れがあります。
- ・表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の恐れがあります。
- ・PLの本体カバーを開けるときは、必ず電源を切ってください。内部には高電圧部分があり危険です。
- ・PLは改造しないでください。火災、感電の恐れがあります。
- ・装置の安全性にかかわるタッチスイッチをPL上に設けしないでください。非常停止スイッチなどの安全性に関わるスイッチは、別システムのハードウェアスイッチを設けてください。
- ・人的損害や物的損害をもたらす可能性があるスイッチは、絶対にタッチパネル上に作らないでください。本体、ユニット、ケーブル等の故障により、意図しない出力信号が出て重大な事故につながる可能性があります。重大な動作を行うスイッチはPL本体以外の装置より行うようにシステム設計をしてください。
- ・バックライトが切れると、画面が真っ暗になって表示が見えなくなりますが、バックライト消灯機能作動時と異なり、タッチスイッチの入力は有効なままです。操作者がバックライト消灯状態と間違えてタッチパネルを押した場合、不当なタッチパネル操作となる恐れがあります。不当な操作による人的・物的損害が生じる恐れのあるタッチスイッチをPL上に設けしないでください。
- バックライトが切れた場合は以下のような現象が発生します。
  - バックライト消灯スクリーンセーバーを設定していないのに画面の表示が消える
  - バックライト消灯スクリーンセーバーを設定していて画面の表示が消えた際に、一度タッチなどの入力を行っても表示が復帰しない
- ・万一、異物(金属片、水、液体)が機器の内部に入った場合は、すぐにPLの電源を切り電源ケーブルを外して、販売店または当社までご連絡ください。
- ・各ボードやインターフェイスの挿入および抜き取りは、必ず電源を切ってから行ってください。
- ・可燃性ガスのあるところでは使用しないでください。爆発の恐れがあります。
- ・PLは航空機器、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命の維持に関わる医療機器などの極めて高度な信頼性・安全性が求められる用途への使用を想定しておりません。これらの用途には使用できません。
- ・PLを運送機器(列車、自動車、船舶等)、防災防犯装置、各種安全装置、生命の維持に関わらない医療機器などの、機能・精度において高い信頼性・安全性が求められる用途で使用する場合は、組み込まれるシステム機器全般として、冗長設計、誤動作防止設計等の安全設計を施す必要があります。



## 注意 安全に関する使用上の注意

- ・PLの表示部を強い力や堅い物質で押さえないでください。表示部が割れ危険です。シャープペンシルやドライバーのように先が鋭利なもので、タッチパネルを押さないでください。破損の恐れがあります。
- ・PLの表面が汚れた場合は乾いた柔らかい布に薄めた中性洗剤をしみ込ませ、強くしぼってふき取ってください。シンナーや有機溶剤などでふかないでください。
- ・PLを直射日光の当たる場所や、高温、粉塵、湿気もしくは振動の多いところで使用および保管しないでください。
- ・温度変化が急激で結露するような場所での使用はお避けください。故障の原因となります。
- ・PLの温度上昇を防ぐため、PLの通風孔をふさいだり熱がこもるような場所での使用は避けてください。
- ・薬品が気化し、発散している空気や薬品が付着する場所での使用および保管は避けてください。
- ・いかなる原因によるものでも弊社ではそれら記録内容に関する保証の責任は負いかねます。重要なデータやソフトウェアについては、外部記憶装置へのバックアップなど、ユーザにおいて対策していただきますようお願いいたします。
- ・PLの電源を切った後、ハードディスクの回転が完全に止まるまでは、電源を再投入しないでください(再投入まで約5秒必要です)。

## UL/c-UL(CSA)認定について

PL792\*-T4\* はUL/c-UL(CSA)1950 部品認定品です (UL File No.E171486)。PLを組み込んだ機器をUL申請する際は、以下の事項にご注意ください。PLを組み込んだ機器は、PLとの組み合わせの適合性がULによって審査されなければなりません。

- PLは以下の規格に部品として適合しています。  
UL1950 第3版 1998年3月1日  
(電気式事務機器を含む情報技術機器の安全性に関する規格)  
CAN/CSA-C22.2 No.950-95  
(電気式事務機器を含む情報技術機器の安全性に関する規格)  
PL7920-T4\* (UL登録型式:2780054-02)  
PL7921-T4\* (UL登録型式:2780054-01)  
以下の条件が満たされていないと、PLがUL/c-UL規格の要求を満たさなくなる可能性があります。
- 機器に組み込んで使用してください。
- 室内専用機として使用してください。
- 電源を接続する際は、電流・電圧を考慮し、導体部の太さが0.75mm<sup>2</sup>以上のケーブルを使用してください。
- PLを組み込んだ機器には、オペレータが容易に操作できる位置にPLの電源を切断できるスイッチなどを設けてください。スイッチには電流・電圧を考慮したものを使用してください。
- バックアップ用電池を誤って交換すると、爆発する危険性があります。製造者の指定する製品か、それと同じタイプの製品と交換してください。使用後の電池を破棄する際は、製造者の指示に従ってください。
- PLを組み込んだ機器はUL1950に適合した筐体構造にしてください。

## CEマーキングについて

PL792\*-T4\* はEMC指令に適合したCEマーキング製品です。

<適合している規格>

Safety

EN60950

EMI

EN55011(Group 1 Class A)、EN61000-3-2、EN61000-3-3

EMS<EN61000-6-2>

EN61000-4-2、EN61000-4-3、EN61000-4-4、EN61000-4-5、EN61000-4-6、

EN61000-4-8、EN61000-4-11

以下の条件が満たされていないと、PLがEN60950の要求を満たさなくなる可能性があります。

- 機器に組み込んで使用してください。
- 室内専用機として使用してください。
- 電源を接続する際は、電流・電圧を考慮し、導体部の太さが0.75mm<sup>2</sup>以上のケーブルを使用してください。
- PLを組み込んだ機器には、オペレータが容易に操作できる位置にPLの電源を切断できるスイッチなどを設けてください。スイッチには電流・電圧を考慮したものを使用してください。
- バックアップ用電池を誤って交換すると、爆発する危険性があります。製造者の指定する製品か、それと同じタイプの製品と交換してください。使用後の電池を破棄する際は、製造者の指示に従ってください。
- PLを組み込んだ機器はEN60950に適合した筐体構造にしてください。

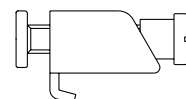
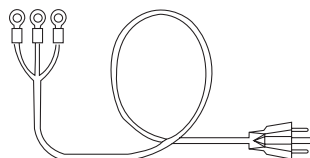
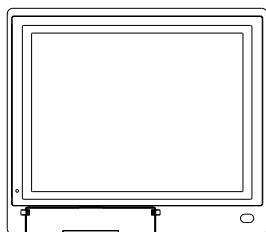
## 梱包内容

梱包箱には、以下のものが入っています。ご使用前に必ず確認してください。

PL 本体 ( PL-7920/PL-7921 )

電源ケーブル

取り付け金具  
12 個 1 組



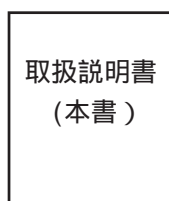
### 重要

- ・ ハードディスク組込みタイプは、取り扱いに注意してください。
- ・ 電源ケーブルはAC100V専用です。その他の電圧では規格に合ったケーブルを使用してください。

取扱説明書(日 / 英)

CD-ROM 1 枚

「PL-X920 Series User Manual & Driver CD」



- ・ CD-ROMにはユーザーズマニュアルとPL-X920用ドライバおよびユーティリティが収録されています。詳しくは、CD-ROM内のユーザーズマニュアルをお読みください。

オプション品組込み出荷の場合、オプション品の取扱説明書も入っています。各オプション品の取扱説明書に記載の梱包内容も合わせて確認してください。

## マニュアルについて

CD-ROM には以下のマニュアルの PDF ファイルが入っています。

- ・ PL-6920/PL-7920 シリーズユーザーズマニュアル 日本語 / 英語 PDF ファイルを閲覧するには Acrobat® Reader が必要です。

Acrobat® Reader 5.0 のインストール方法

Acrobat® Reader は CD-ROM 内の [Reader] フォルダに入っています。

Windows® エクスプローラで [Reader¥JPN¥ar505jpn.exe] ファイルをダブルクリックすると、ファイルが自動解凍されます。以降、画面に表示されるインストールの手順に従ってください。

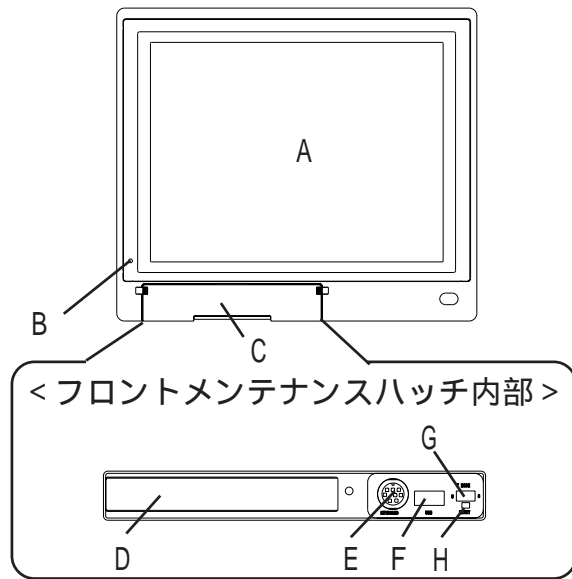
マニュアルの閲覧

マニュアルを閲覧するには、Windows® エクスプローラで

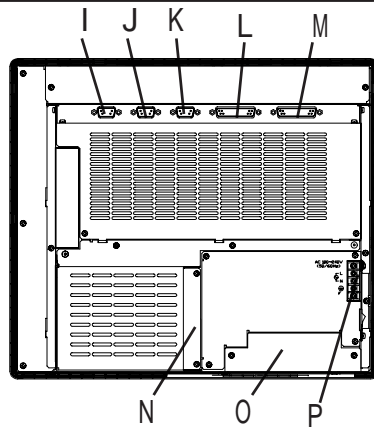
[manual¥JPN¥pl7920j.pdf] ファイルをダブルクリックし、PDF ファイルを開いてください。PDF ファイルが表示されます。以降、Acrobat® Reader の操作方法については Acrobat® Reader のヘルプをご覧ください。

1

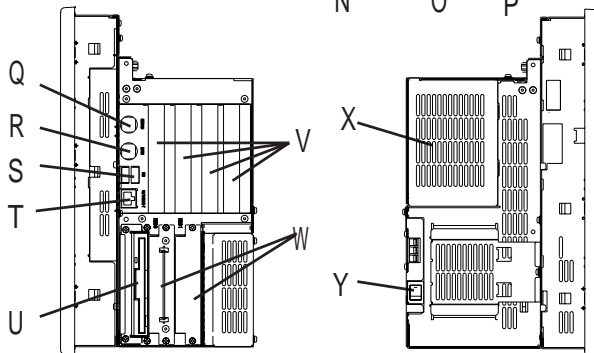
# 各部名称とその機能



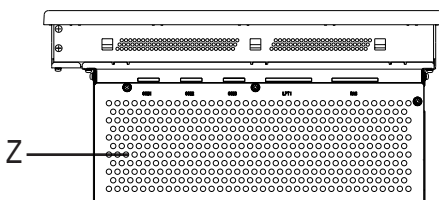
PL-7920  
(4スロット)



PL-7920(4スロット)



PL-7920(4スロット)



- A: 表示部 / タッチパネル
- B: 電源LED/RAS ステータスランプ
- C: フロントメンテナンスハッチ
- D: 前面取り付けFDD スロット(PL-7920 のみ)
- E: キーボードコネクタ(KEYBOARD)
- F: USB コネクタ(USB)
- G: タッチパネル I/F セレクトスイッチ (T-MODE)
- H: ハードウェアリセットスイッチ(RESET)
- I: RS-232C コネクタ(COM1)
- J: RS-232C コネクタ(COM2) (RI/+5V 切替可)
- K: RS-232C コネクタ(COM3) (RI/+5V 切替可)
- L: プリンタコネクタ(LPT1)
- M: RAS コネクタ
- N: IDE I/F カバー
- O: 前面取り付けFDD スロット(PL-7920 のみ)
- P: 電源入力用端子台
- Q: キーボードコネクタ
- R: マウスコネクタ
- S: USB コネクタ
- T: LAN コネクタ (10/100 BASE-T)
- U: 側面取り付けFDD スロット
- V: 拡張スロット
- W: HDD/CF カードユニット拡張スロット
- X: ハーフカバー
- Y: 電源スイッチ
- Z: リアメンテナンスハッチ

**重要**

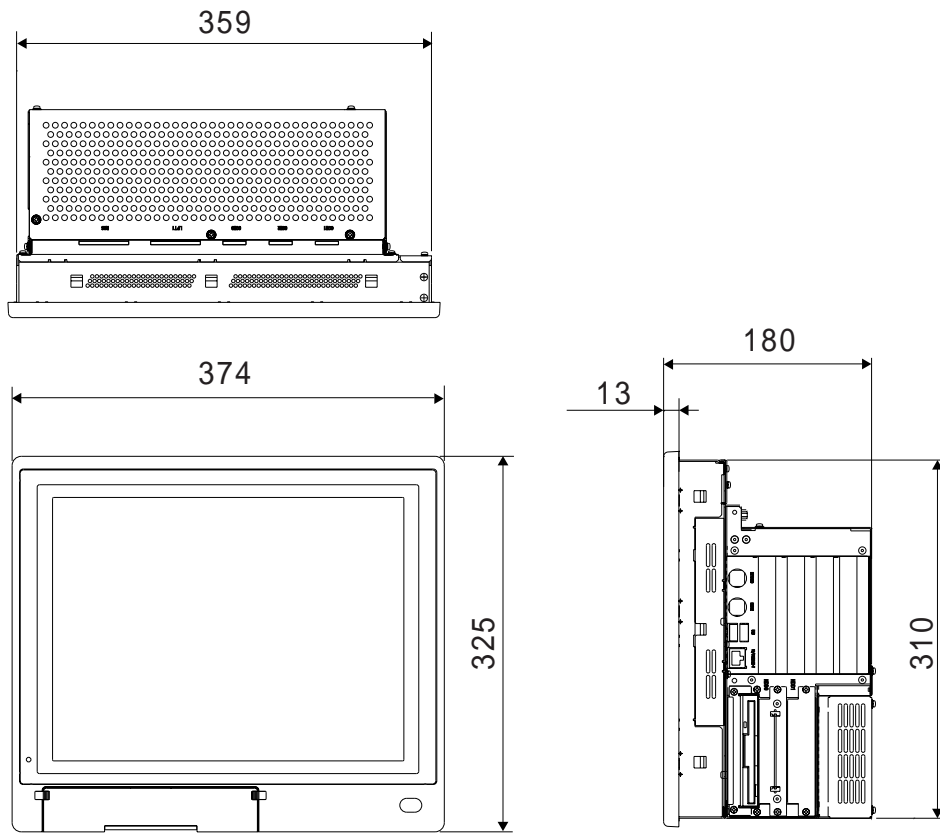
- ・ 周辺機器を取り付ける場合は、電源ケーブルを取り外し、必ずPLに電源が供給されていないことを確認してから取り付けてください。
- ・ PL本体に電源ケーブルを取り付け/取り外しを行う場合は、電源ケーブルに電源が供給されていないことを確認してから取り付けてください。感電の恐れがあります。

2

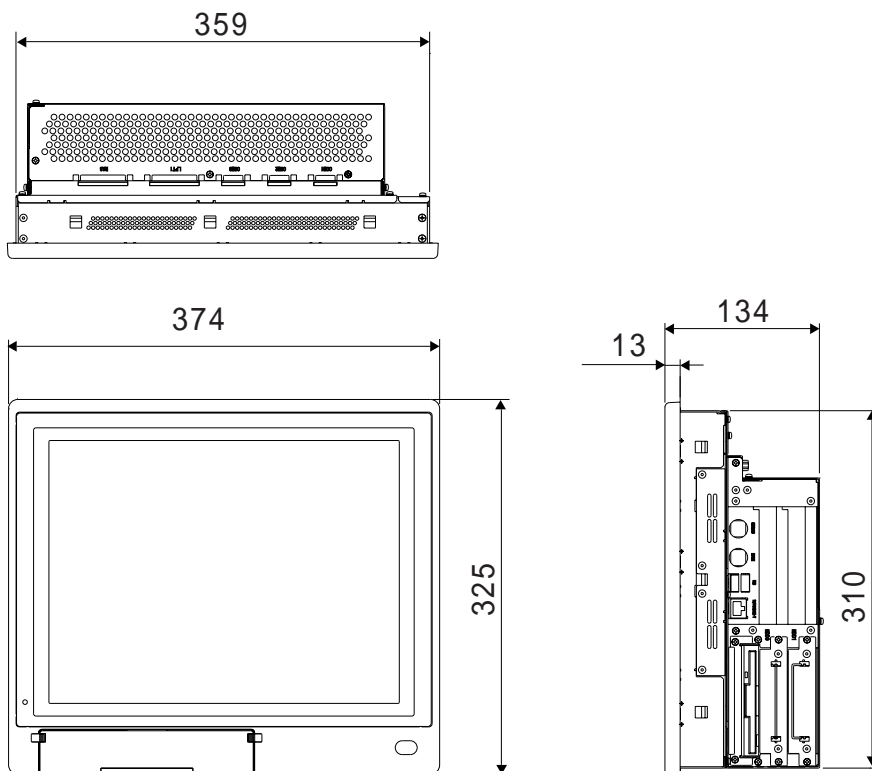
外觀図

単位:mm  
(突出部を除く)

・ PL-7920



・ PL-7921



### 3 仕様

#### 電氣的仕様

	PL-7920	PL-7921
定格電圧	AC100V ~ 240V	
電圧許容範囲	AC85V ~ 265V	
定格周波数	50/60Hz	
許容瞬時停電時間	1サイクル以下(ただし、瞬時停電の間隔は1s以上)	
消費電力	150VA以下	120VA以下
絶縁耐力	AC1500V 20mA 1分間(充電部端子とFG端子間)	
絶縁抵抗	DC500Vで10M 以上(充電部端子とFG端子間)	

#### 環境仕様

使用周囲 温度	PL792*-T41 (CPU:700MHz)	盤内	ファン使用時	5 ~ 50 (HDD使用時)
			ファン未使用時*1	5 ~ 40 (HDD使用時)
		表示面側	5 ~ 40	
	PL792*-T42 (CPU:1GHz)	盤内	ファン使用時	5 ~ 45 (HDD使用時)
		ファン未使用時*1	使用不可	
		表示面側	5 ~ 40	
保存周囲温度	-10 ~ +60			
使用周囲湿度	10%RH ~ 85%RH(結露しないこと)			
保存周囲湿度	10%RH ~ 85%RH(結露しないこと)			
最大湿球温度	29			
じんあい	じんあいが無いこと			
汚染度	汚染度 2			
腐食性ガス	腐食性ガスが無いこと			
耐振動	19.6m/s <sup>2</sup> (10 ~ 25Hz X,Y,Z方向 各30分) (HDD使用時は4.9m/s <sup>2</sup> 、FDD使用時は9.8m/s <sup>2</sup> )			
耐ノイズ (インパルスノイズ)	ノイズ電圧: 1500V パルス幅: 50ns、500ns、1μs 立ち上がり時間: 1ns (ノイズシミュレータによる)			
ノイズイミュニティ (ファーストトランジェ ント・バーストノイズ)	電源ライン: 2kV IEC 61000-4-4 COMポート: 1kV IEC 61000-4-4			
耐静電気放電	4kV IEC 61000-4-2			

- 重要**
- ・ オプション使用時は、オプション品の仕様値も併せてご確認ください。
  - ・ フルサイズカバー使用の場合は、装着するボードの寸法や形状によって耐振動等の環境仕様が異なります。
  - ・ ハードディスクには、寿命があります。万一の故障も考え、定期的なデータのバックアップや交換用ハードディスクユニットの用意をお勧めします。

\*1 本体内部にある電源ファンを取り外した場合

- 重要** ・ ハードディスクの寿命は使用条件や環境により前後しますが、目安として周囲温度20℃で20,000時間(通電時間)または5年間のいずれか早い到達期限までです。
- ・ ハードディスクを高温・高湿度の環境で使用すると、寿命を縮める原因となります。最大湿球温度29℃での使用を推奨します。この条件は、例えば気温35℃で湿度64%RH、40℃で44%RH程度に相当します。

## 外観仕様

		PL-7920	PL-7921
接地		保護接地(D種接地)/機能接地(D種接地)	
構造		保護構造 <sup>*1</sup> : JEM1030 IP65f相当 形状: 一体形 取付方法: パネル埋込取付	
冷却方法	CPU(700MHz)モデル	ヒートパイプおよび電源ファンによる空冷	
	CPU(1GHz)モデル	CPUファン一体型ヒートパイプおよび電源ファンによる空冷	
質量		10.5kg以下 (HDD、FDDを含む)	9.5kg以下 (HDD、FDDを含む)
外形寸法		W374×H325×D180mm (背面突出部を含まない)	W374×H325×D134mm (背面突出部を含まない)
フルサイズボードカバー 取り付け時の寸法		W422×H325×D180mm (背面突出部を含まない)	W422×H325×D134mm (背面突出部を含まない)
RS-232C/RS-485変換ユ ニット取り付け時の寸法		W374×H325×D180mm (背面突出部およびケーブル部を含まない)	W374×H325×D156mm (背面突出部およびケーブル部を含まない)

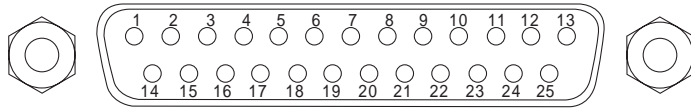
\*1 PLをパネルに取り付けたときのフロント部分に関する保護構造です。当該試験条件で適合性を確認していますが、あらゆる環境での使用を保証しているものではありません。特に試験に規定されている油であっても、長時間にわたり噴霧状態で本機がさらされている場合や極端に粘度の低い切削油にさらされている場合などは、フロント部のシートのはがれにより油の浸入が発生することがあります。その場合は別途対策が必要となります。また、規定外の油でも同様の浸入やプラスチックが変質することがあります。本機を使用する前にあらかじめご使用の環境をご確認ください。また、長時間使用した防滴パッキンや一度パネル取り付けした防滴パッキンはキズや汚れが付き、十分な保護効果を得られない場合があります。安定した保護効果を得るためには、防滴パッキンの定期的な交換をお勧めします。

# 4

## 外部インターフェイス仕様

### プリンタインタ - フェイス (LPT1)

Dsub 25ピン(メス)



ネジの大きさは:(4-40): インチタイプ



#### 電氣的仕様

- ・O.D: オープンドレイン
- ・T.S: 3ステート入出力
- ・TTLIN: TTL入力

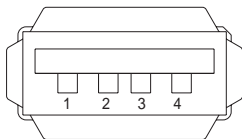
ピン番号	SPP/ECP モード 信号名	EPP モード 信号名	方向	電氣的 仕様	ピン 番号	SPP/ECP モード 信号名	EPP モード 信号名	方向	電氣的 仕様
1	STRB	WRITE	入出力	O.D	14	AUTOFD	DSTRB	入出力	O.D
2	DATA0	DATA0	入出力	O.D	15	ERROR	ERROR	入力	TTL
3	DATA1	DATA1	入出力	O.D	16	INIT	INIT	入出力	O.D
4	DATA2	DATA2	入出力	O.D	17	SLCTIN	ADSTRB	入出力	O.D
5	DATA3	DATA3	入出力	O.D	18	GND	GND		
6	DATA4	DATA4	入出力	O.D	19	GND	GND		
7	DATA5	DATA5	入出力	O.D	20	GND	GND		
8	DATA6	DATA6	入出力	O.D	21	GND	GND		
9	DATA7	DATA7	入出力	O.D	22	GND	GND		
10	ACKNLG	ACKNLG	入力	TTL	23	GND	GND		
11	BUSY	WAIT	入力	TTL	24	GND	GND		
12	PE	PE	入力	TTL	25	GND	GND		
13	SLCT	SLCT	入力	TTL					



- ・ 1、14、16および17ピンでは、電氣的仕様はSPPモードの場合、O.Dとなり、ECPモードおよびEPPモードの場合、T.Sとなります。

### USBインタ - フェイス

レセプタクル

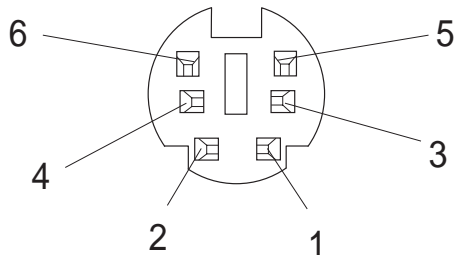


ピン番号	信号名
1	Vcc
2	- Data
3	+ Data
4	GND

### キ - ボ - ドインタ - フェイス / マウスインタ - フェイス

(フロント、サイド共通)

ミニDIN 6ピン(メス)



キ - ボ - ド

ピン番号	信号名
1	KEY DATA
2	NC
3	GND
4	+ 5V
5	KEY CLK
6	NC
SHIELD	GND

マウス

ピン番号	信号名
1	Mouse DATA
2	NC
3	GND
4	+ 5V
5	Mouse CLK
6	NC
SHIELD	GND

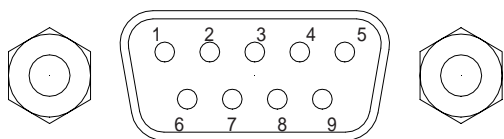
#### 重要

- ・ ACPI対応107(英語)/112(日本語)キーボードには非対応です。101,104(英語)/106,109(日本語)キーボードをご使用ください。



## RS-232C インタ - フェイス (COM1/COM2/COM3)

Dsub 9 ピン (オス)



ネジの大きさは : (4-40) : インチタイプ

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	DCD	6	DSR
2	RXD	7	RTS
3	TXD	8	CTS
4	DTR	9	RI/+5V
5	GND		

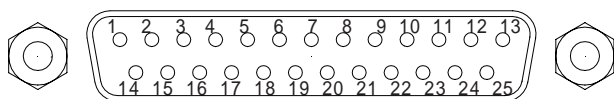
- 重要** ・ GND 端子は信号グランドです。接続相手の SG (信号グランド) 端子と接続してください。

9 番ピンの「RI/+5V」は COM2、COM3 のみです。COM1 は「RI」となります。COM2、COM3 の「RI/+5V」の切り替えは、本体のリアメンテナンスカバーを開け、基板上にあるメインファンクションスイッチにて行います。COM2 を切り替える場合は、メインファンクションスイッチの SW2 を ON にすると「+5V」に切り替わります。初期設定は OFF で「RI」です。COM3 を切り替える場合は、同様に SW3 を ON にしてください。参照 パネルコンピュータ PL-6920/PL-7920 シリーズ ユーザーズ マニュアル 2.3.4 RS-232C インターフェース (COM1/COM2/COM3)

- 重要** ・ 接続相手のインターフェイス仕様を確認の上、切り替えを行ってください。誤った設定を行うと故障、誤動作の原因になります。
- ・ 切り替えは必ず PL 本体の電源を切った状態で行ってください。誤動作の原因となります。

## RAS インタ - フェイス

Dsub25 ピン (オス)



ネジの大きさは : (4-40) : インチタイプ

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	GND	14	GND
2	+5V (最大100mA)	15	+5V
3	+12V (最大100mA)	16	NC
4	NC	17	NC
5	リセット入力(+)	18	NC
6	DINO(+)	19	NC
7	DOU(-)	20	NC
8	DOU(+)	21	ランプ出力(-)
9	アラーム出力(-)	22	ランプ出力(+)
10	アラーム出力(+)	23	NC
11	リセット入力(-)	24	DIN1(-)
12	DINO(-)	25	NC
13	DIN1(+)		

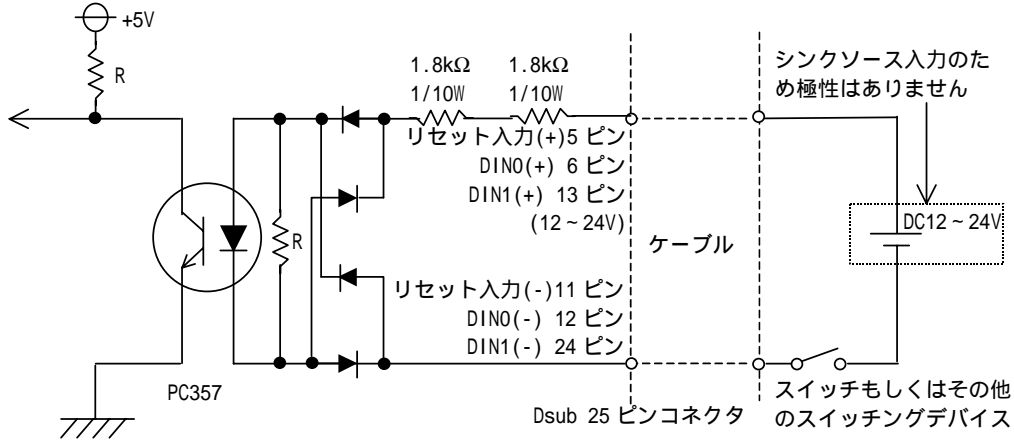
- 重要** ・ 2 番 (+5V)、3 番 (+12V) の外部電源出力をご使用の場合は定格電流を守ってご使用ください。誤動作、故障の原因となります。

## 外部入力信号 (DIN、リモートセット入力共通)

入力電圧	DC12V ~ 24V
入力電流	7mA
動作電圧	ON電圧:9V (min)、OFF電圧:3V (max)
絶縁方式	フォトカプラによる絶縁

(インターフェイス回路)

(接続例)



### 重要

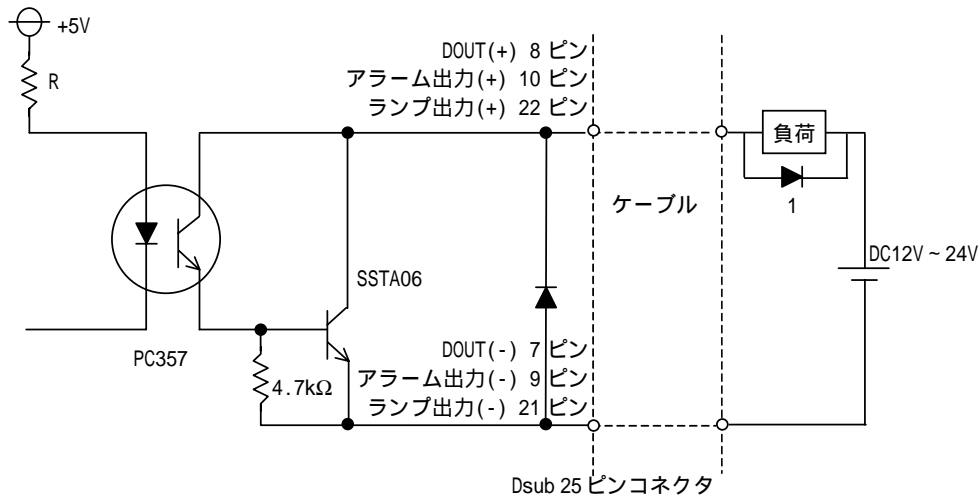
- 汎用信号入力 (DIN) は、入力レベルを 1.5S 以上保持してください。1.5S 以下では検出できないことがあります。
- 端子間の電圧値は、入力電圧で決められた範囲内で使用してください。入力電圧範囲を超えますと故障の原因となります。
- シンクソース入力のため、D(-)、RESET(-)が正極、D(+)、RESET(+ )が負極となっても問題ありません。この場合も、上記入力電圧範囲内で使用してください。

## 外部出力信号 (DOUT、アラーム出力、ランプ出力共通)

定格負荷電圧	DC12V ~ 24V
最大負荷電流	100mA/点
端子間最大降下電圧	1.5V (負荷電流100mA時)
絶縁方式	フォトカプラによる絶縁

(インターフェイス回路)

(接続例)



### 重要

- 最大負荷電流内で使用してください。最大負荷電流を超えて使用すると故障の原因となります。
- 負荷の電流値および電圧値は、端子間電圧を加味したうえで設計してください。負荷電流を大きくとりますと、端子間にて最大 1.5V の電圧降下が生じます。
- 誘導性負荷を接続する場合は上図 1 の保護用ダイオードを接続してください。

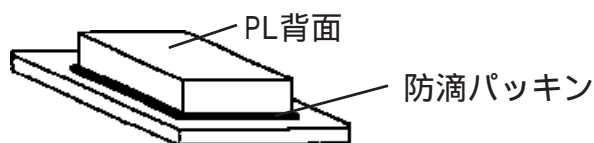
## 5 取り付け

以下の方法で取り付けを行ってください。

### 防滴パッキンを取り付ける

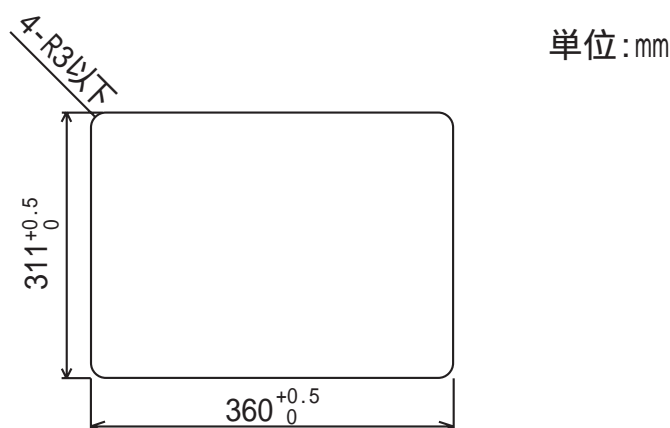
防滴効果を必要としないような環境においても防滴パッキン(本体付属)は、必ず使用してください。PLの表示面を下にして水平なところに置き、付属の防滴パッキンを背面部から樹脂ベゼルの溝に取り付けます。

- 重要** ・ 取り付けをする前に、パッキンがPLに装着されているか必ず確認してください。



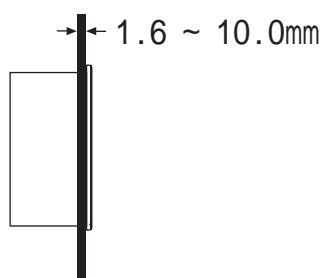
### 取り付け穴をあける

取り付け穴図に従い、取り付け部分に加工を行います。取り付けには、防滴パッキン、取り付け金具が必要です。



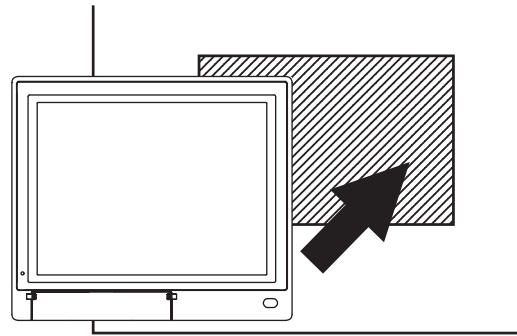
- 防滴効果を得るため、取り付け部(パネル)には反りや傷、凹凸のない良好な平面を選んでください。反りを防止するためには補強板をつけることも有効です。

- 重要** ・ パネル厚許容範囲は、1.6mm ~ 10.0mmです。パネルの強度を十分考慮の上、パネル厚を決定してください。



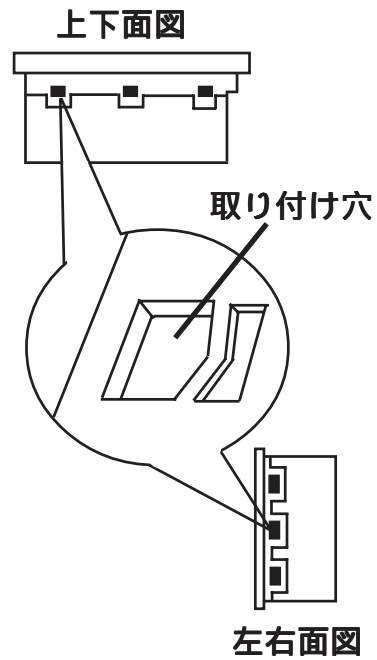
## 取り付け

PLをパネル前面からはめ込みます。



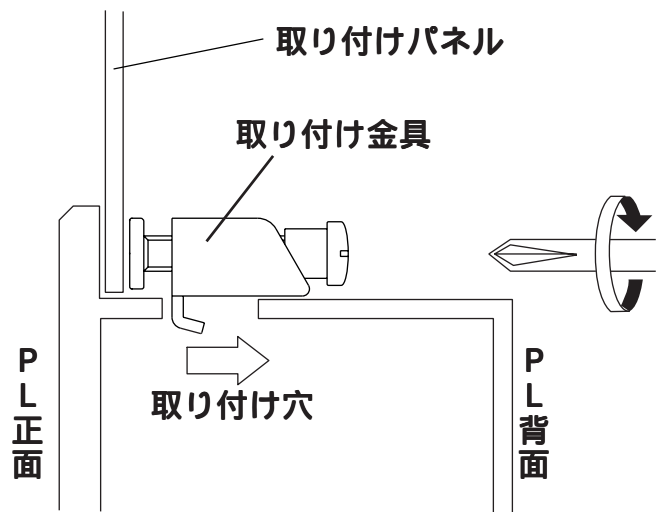
PL上下左右面12カ所にある金具穴のフックを入れます。

穴に入れたら、金具を後ろへずらします。



取り付け金具のネジを締めます。  
12カ所のネジを対角に少しずつ締めてください。

- 重要**
- ・ 強くしめすぎると破損するおそれがあります。防滴性確保のための適正締め付けトルクは0.5N・mです。

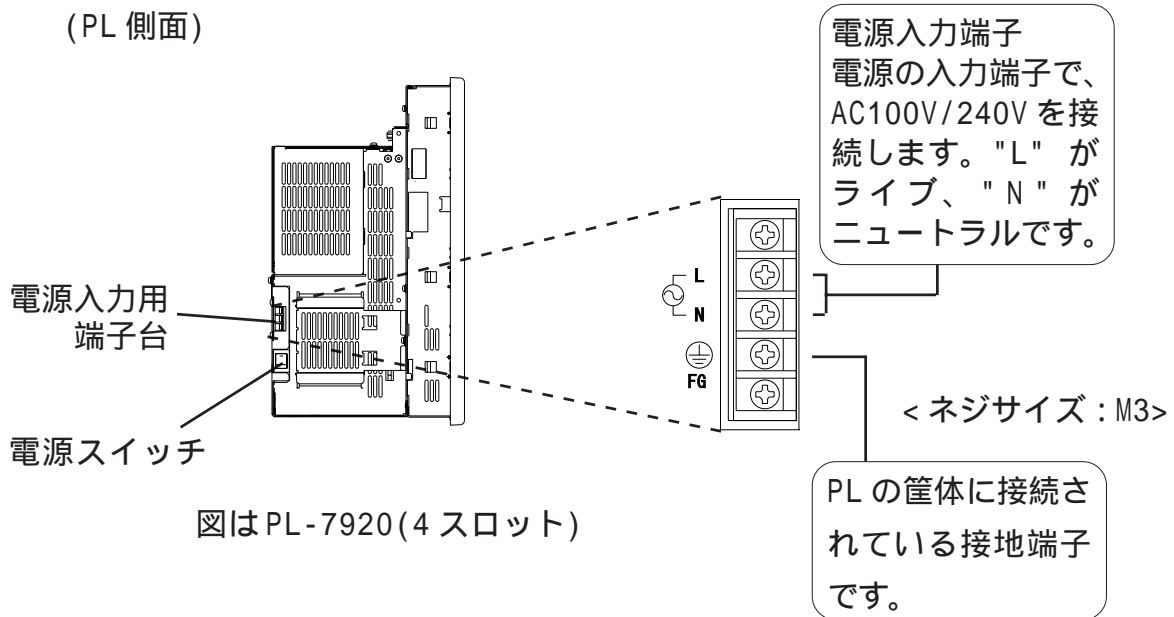


## 6

## 配線について

電源ケーブルは、PL 背面にある電源入力用端子台に接続します。

(PL 側面)

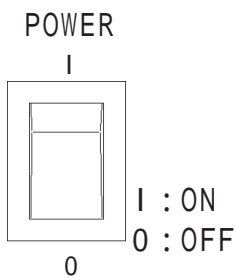


電源ケーブルは、以下の手順に従って接続してください。

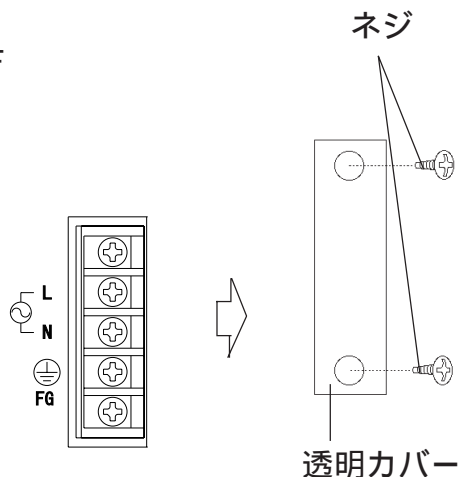
### 警告

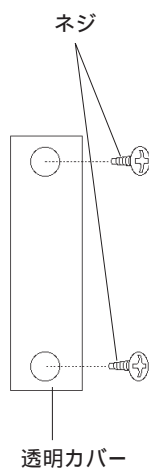
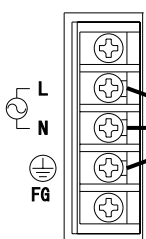
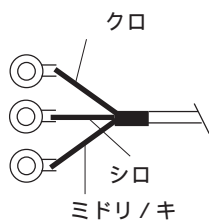
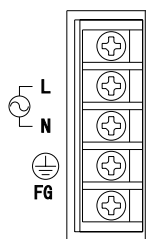
電源ケーブルの取り付けは、必ず電源が供給されていないことを確認して取り付けてください。感電のおそれがあります。

記載の電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電、および破損のおそれがあります。



電源スイッチがOFFになっていることを確認した後、PLの背面にある電源入力用端子台の透明カバーを外します。

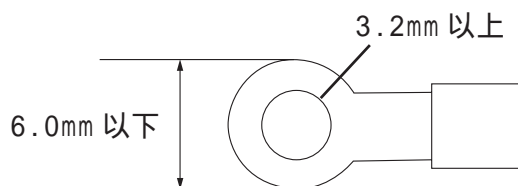




端子台の中央3カ所のネジを外し、圧着端子をネジ穴にあわせた後、ネジ止めします。



- ・ 使用圧着端子: V1.25-3 相当品 (日本圧着端子製造(株)製) (JIS規格型番 RAV1.25-3)
- ・ 端子寸法は、以下の条件のものを使用してください。



**重要**

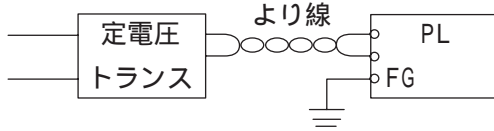
- ・ 図のケーブル色は、付属のケーブルを使用した場合の色です。
- ・ 付属のケーブルは AC100V 専用です。他の電圧ではそれぞれの各規格に合ったケーブルを使用してください。

透明カバーを電源入力用端子台にネジ止めします。

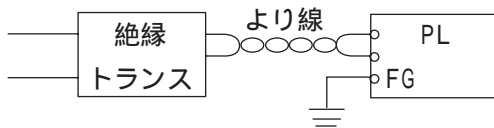
# 7

## 電源供給時の注意事項

電源供給時の注意事項です。下記の注意事項を守り、PL 背面の電源入力用端子台に電源ケーブルを接続してください。



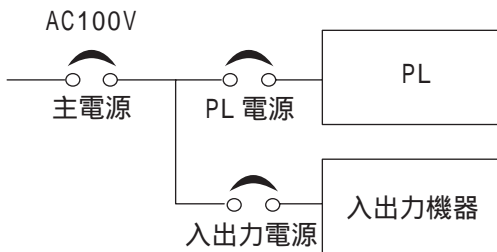
- ・電圧変動が規定値以上の場合は、定電圧トランスを接続してください。



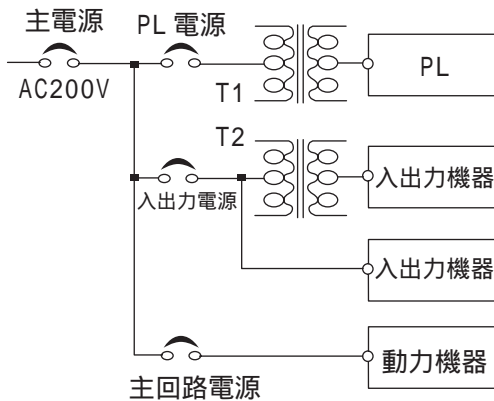
- ・線間や大地間は、ノイズの少ない電源を使用してください。ノイズが多い場合は、絶縁トランス(ノイズカットトランス)を接続してください。



- ・定電圧トランス、絶縁トランスは、容量 200VA 以上のものを使用してください。

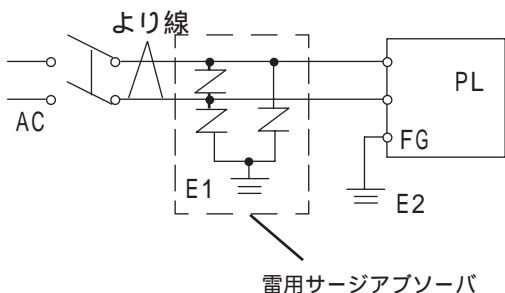


- ・PL の電源と入出力機器、および動力機器とは、系列を分離して配線してください。



- ・耐ノイズ性を高めるために、電源ケーブルにフェライトコアを取り付けることをおすすめします。
- ・主回路(高電圧、大電流)線、入出力信号線、電源ケーブルは、束線、近接をしないでください。

- ・雷のサージ対策に、雷用サージアブソーバを接続してください。

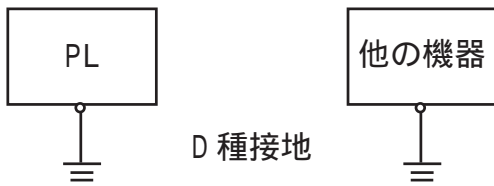


**重要**

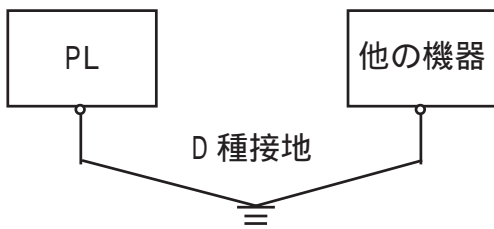
- ・雷用サージアブソーバの接地(E1)とPLの接地(E2)とは分離して行ってください。
- ・電源電圧最大上昇時でも、サージアブソーバの最大許容回路電圧を超えないような雷用サージアブソーバを選定してください。

## 8 接地時の注意事項

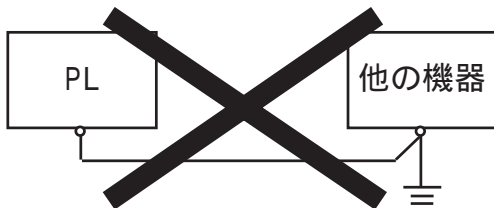
(a) 専用接地 最良



(b) 共用接地 良



(c) 共用接地 不可



・ PL 背面にある FG 端子からの接地は、専用接地としてください。「図(a) 接地工事は D 種接地、接地抵抗 100 Ω 以下」

・ 専用接地がとれないときは、図(b)の共用接地としてください。

・ 本機は内部で SG (シグナルグラウンド) と FG (フレームグラウンド) が接続されています。

・ 接続装置と SG を接続する場合は、短絡ループが形成されないようにシステムを設計してください。

・ 2 mm<sup>2</sup> 以上の接地用電線を使用してください。

接地点は、PL の近くで接地線の距離を短くしてください。接地線が長くなる場合は、太い絶縁線を使用し、電線管を通して敷設してください。

## 9 入出力信号接続時の注意事項

- ・ 入力信号線、および出力信号線は、動力回路のケーブルとは別の配線系統に布線をしてください。
- ・ 動力回路ケーブルをどうしても別の配線系統にできないときは、シールドケーブルを使用して、シールド端を PL の FG に落としてください。
- ・ 耐ノイズ性を高めるために、通信ケーブルにフェライトコアを取り付けることをおすすめします。

### お断り

本製品を使用したことによるお客様の損害および免失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

### 株式会社 デジタル

〒559-0031

大阪市住之江区南港東 8-2-52

TEL : (06) 6613-1101 (代)

FAX : (06) 6613-5888

URL : <http://www.proface.co.jp/>